

生かそう憲法 守ろう 11・3 憲法集会

とき 11月3日 水・祝 午後1時30分開会
ところ 円山野外音楽堂

京都総評

京都地方労働組合総評議会：発行
第 260 号

発行所 京都市中京区壬生仙念町30-2 ラポール京都5階
京都地方労働組合総評議会 (京都総評)
電話 075 (801) 2308 FAX 075 (812) 4149
E-mail sohyo@labor.or.jp URL http://www.labor.or.jp/sohyo/
<発行責任者> 梶川 憲 <編集責任者> 吉岡 勝

京都労働相談センター
電話 0120-378-060 E-mail scent@labor.or.jp

いのち・暮らしが

大切にされる社会へ！
暮らせる賃金・均等待遇を実現しよう

京都総評は、10月9日に京都教育文化センターで第91回定期大会を開催しました。9月の開催予定を緊急事態宣言のために延期して行いました。また、感染防止の観点から前回大会と同様に時間短縮、委任状対応の要請で出席人数を減らす、受付で検温を行うなどの対応を行い、代議員、役員など約110人が参加しました。大会には、京都府商工労働観光部長、京都市長、京都弁護士会長、京都中小企業家同友会など、多数の祝電・メッセージが寄せられました。限られた討論時間の中でも活発な討論が行われ、2021年度運動方針を採択し、新役員を選出しました。



京都総評第91回定期大会
2021年10月9日(土) 京都教育文化センターホール

要求と運動の「見える化」を見せる化

長引くコロナ禍の下、労働組合の活動も多くの困難がありながらも、試行錯誤を続け、新しい形態を含めた運動を展開してきた一年、多くの貴重な経験が生まれました。政治的には、菅首相が国



権が誕生するとう激動の情勢のもとで行われた大会です。大会は、梶川議長

民の怒りの声に辞任せざるを得なくなり、岸田政

2021年運動方針案で、一年間のすべての運

の格差の見える化をはかり、改善をめざすこと、

の5点を提起し、全力をあげて取り組もうと呼び

「いっしょに変えよう」と呼びかける大運動をすすめていきたいと思います。

選挙に行って、政治を変えよう

2021年秋季年末闘争の中心課題として、①

労働組合ができることを知らせよう

「仕方ない」からみんな「変える」へ、労働組合ができることを伝える取組みが、ますます重要になっていきます。全

コロナ対応で無為無策と逆行を続け、感染爆発と医療崩壊を招き、沖縄の辺野古新基地建設を強行し、違憲・違法な日本学術会議への人事介入など強権政治のかぎりをつくし、国政私物化・「政治とカネ」の問題の疑惑の解明責任を一切果さず、反省もしなかった、菅首相が政権を投げ出しました▼これは国民の怒りと世論が追い込んだ結果です。さあ、みなさん！いよいよ総選挙です。9年に及ぶ、安倍・菅政治にピリオドを打つ絶好のチャンス到来です！▼マスコミジャックとも言える総裁選報道が展開されましたけれども、安倍・菅政権と同じ穴の貉たちでは、今の日本の政治を変えることはできないことは明らかです。どうしても、政権交代が必要ですが、4年前は、直前に悪夢のような野党共闘破壊が行われましたが、今回は市民連合と立憲野党との政策協定が実現しました▼「憲法」、「コロナ」、「格差」、「環境」、「ジェンダー」、「権力の私物化」どの問題をとってもこれまでの安倍・菅政治では実現できない項目ばかりです。働くものが報われる日本の実現へ！

TUBUYAKI

Let's vote! (AF)

国政・府政の転換を



議長 あいさつ (要旨)

「ひとりじゃない」と呼びかける労働組合の出番

京都総評議長 梶川 憲



暮らせない悲鳴の中心が、劣悪な賃金です。どこで働いても休まざるを得なくとも自立できる賃金と雇用は緊急課題です。その水準は時給1500円以上です。1500円最賃を実現する中小企業支援政策は、あれこれの助成制度では間に合いません。

8時間働けば普通に暮らせる社会の扉を拓こう

「最賃引き上げと支払える直接支援策」＝消費税減税、社会保障負担を減免する経済政策を打ち立てることです。これは府議会意見書や最賃審議会答申でも合意になり、政府へ迫る地方の声となりました。こんな中で、衆議院総選挙です。野党4党が合意した共通政策に、この私たちの要求が盛り込まれました。大歓迎です。野党共闘による政権交代を私たちの手で実現し、「8時間働けば普通に暮らせる社会」の扉を拓こうではありませんか。

府知事選挙を、まともな自治体づくりの転換点に

財政難を口実に福祉や暮らし

の土台を切り捨てようとしている京都市政、何でも国待ち・国通りで大型開発一辺倒の京都市政の共通点は、いのちを守る役割を縮小し矛盾を現場と住民に押し付けていることです。来春の府知事選挙を、まともな地方自治体をつくる転換点にしましょう。今こそ私たちの活動と組織を、社会からの要請に追いつかせる必要があります。労働組合をつくれれば、入れれば、いのちも暮らしも守る手立てが進み出します。「あなたのせいじゃなく」「ひとりでじゃない」と呼びかける労働組合の出番です。みんな力であわせて奮闘することを呼びかけて、挨拶としま

いのちを守る政治の実現を



連正 代表議員
京都医労連
塩見

議案審議・討論では、17人が発言しました。コロナ禍で大変な医療や公衆衛生、教育現場の実態、労働者との対話をすすめた経験、地域での運動の経験などが発言されました。多くの発言者が、目前に迫った総選挙で政治を変えるために全力をあげる決意が語られました。

議案採択のあと、大会宣言を満場の拍手で確認し、新役員を選出しました。また、全労連組織拡大専任オクルグの任についた岩橋祐治さんが引き続き、特別常任幹事に承認されました。

決した。

コロナ禍でいのちを守る政治の実現が求められている。その柱に新「いのち署名」がある。四割の職場で一時金が削減されたり、コロナ病棟に人手を回すための一般病棟が手薄になっている。それを改善するために、今度の総選挙で政策転換したい。討議資料も発行して全組合員討議を行う。

教育条件改善へ政治を動かすために全力



星 代表議員
京教組
琢磨

新型コロナウイルス感染拡大が

総選挙勝利と仲間増やしの「二刀流」で



得居 代表議員
京建労
洋介

コロナ禍のもと、「どうしたら組合とつながるか」「コロナ禍だからこそ頼りになる京建労」を模索してきた。コロナやウッドショックなど仲間を取り巻く状況は厳しさを増している。何が待たれているのかアンテナを張り、仲間が寄り添う相談活動を充実させ、信頼関係を築くことが求められる。拡大の教訓である「組合員に依拠した基本活動」を徹底し、拡大連

41年連続でベア獲得



都放送労組
信行 代表議員
京

春闘では組合結成以来41年連続でベアを獲得

労働者の声を聞くことが大事



建交労
重村 周治 代表議員

最賃1500円を実現しよう!

雇用調整助成金で何とか生活を維持している組合員が7人いる。休業支援金を申請しようとする人と会社に嫌がらせをされた人も組合員に加入してもらった。トラック労働者との対話で、「運ぶ荷物がないので仕事にならない」「基準賃金は20万円ほどで、残業や深夜労働で生活しているが仕事がないので10万円ほど給与が下がったので転職した」「コロナワクチンを打つ時間も取れない」「運賃の値崩れも起きて」との声。総評の支援も受けてハローワーク前でアンケート活動を3月と6月に合計4回行った。半分はコロナの影響があつて求職活動をしている。対話やアンケートを通じて労働者の生の声を聞いて活動に生かすことが大事と感じた。

力発電施設が建設されようとしている。一基130〜180メートルの高さの巨大風車が合計50基設置される予定。今から20年前の国営農地の開発で自然環境が疲弊したがそれを数倍上回る巨大開発である。丹後半島は地質が弱く建設されると大規模な地滑りが発生する。巨大な風車を運ぶために谷を埋めることになるので地元連合会ではこぞ反対している。丹後には沢山の絶滅危惧種があるが考慮していない。世界遺産登録も出来ない。人口減が続く過疎地を札束で買ったたくやり方だ。財産区の一部の役員にだけ知らせているが、この問題を広く



綾部地協
小松 秀紀 代表議員

地協の事務局長としてがんばる

コロナ禍で地協の活動が困難な状況だったが、そんな中でも障がい者福祉施設の組合が地協と協働し、協働しながら職場のコロナ対策やコロナ一時金で労使交渉を行い前進を勝ち取ったという経験も生まれた。また、地協としてコロナ対策について綾部市へ要請したが回答はひどいもので、「消費税は社会保障のため」と消費税減税の願いに背を向け、「経済



宇城久 代表議員
山 岡 啓基

労働者の生活を守る ことが地区労の役割

労働者の生活を守ることは地区労の大切な役割だと考え、街頭宣伝を中心に、地域総行動、春闘

宇治野外活動センター労組は結成7年目、5人の組合員でがんばっている。指定管理者制度のため委託元の宇治市と交渉ができないことが壁になっているが、自治労連に結果として今後もがんばっていく。

争議団訴え



みんなの力をあわせて

争議・裁判の勝利解決を!

不当解雇撤回を求めたたかウ仲間、長期争議をたたかう仲間、裁判でたたかう仲間など、争議団・争議組合が一堂に登壇し、支援を訴えました。

コロナを理由にした不当な雇止め撤回を求めて裁判をたたかう全印総連・コード争議の原告は、「裁判を通じて会社の不当性がますます明らかになっていく。証人尋問でさらはつきりするはず。勝利に向けてがんばる」と決意表明。

30年を超えるたたかいの明治乳業争議団、10年を超えるたたかいになるJAL不当解雇撤回闘争争議団からは一刻も早い解決のために引き続き大きな支援を訴えました。

国と企業の責任が明確になった最高裁判決で解決に向けて大きな前進をつけた建設アスベスト裁判をたたかう京建労は「全面解決を固めました。」

当事者を励まし、連帯を強めて、すべての争議・裁判の早期勝利解決に向けて、力をあわせてがんばる決意を固めました。

は商工会議所、市民の声は自治会長から聞いている」と私たちの声に耳を傾けない姿勢が明らかに。総選挙は野党の仲間になった。2017年からはじめた「地域の労働者の学び」を育む労働学校は、昨年コロナ禍でできなかったが、今後も大切な取り組みとして続けていきたい。市民の声を大切にする市政をめざして宇治市長選、城陽市長選をたたかった。

労働組合がぐんぐん伸びるにつれて発信



学校現場の多忙化にも直結し、働き手がますます足りなくなる、授業者が足りないなどが起こっている。

少人数学級署名は全国で22万筆。やっと少人数学級の扉が開けたがまだ不十分。教育への公的支出を国際社会並みにすれば、教育の無償化、奨学金の拡充が可能。今年度の教育署名もスタート、父母や子どもたちの声を聞き、教育要求をたばねて労働条件や教育条件改善のために、政治を動かすために全力をあげる。

し、一時金も過去最高額を実現した。非正規労働者の時給もアップさせて1115円になった。その他全体で35の要求を実現した。

特筆されるのは2つの合理化攻撃を跳ね返したこと。ひとつは彦根の滋賀放送局の閉鎖を滋賀のリスナーと共同し放送の灯を守れと提言をつくり会社に申入れて撤回させた。ひとつは関連会社の社員を本社に出向させ、玉突きで派遣社員を雇止めしようとしたことに猛反発して撤回させ「組合の支援で助かった」と喜ばれている。また、この一年で30人が組合加入、これは過去最高の拡大数。これからもがんばっていく。

丹後半島に大規模な風

を訴えました。

を訴えました。

を訴えました。

を訴えました。

「仕方ない」から「みんなでも変える」へ



コンビニ訪問に 取り組んで



綴喜地労協
田中 一郎 代議員

綴喜地労協では、毎月一回の新田辺駅頭宣伝などを続けている。綴喜ユニオンでは、京田辺市の20件のコンビニへの訪問行動を行い、従業員と「最賃が上がりますがご存じますか」「休憩時間は取れますか」「有給休暇はありますか」と対話し、アンケートへの協力を依頼。対話の中で「有給休暇はありません。知らなかった」「有給休暇は正社員じゃないともらえない」と思っていた。「深夜勤務でもひとりでやっている」などの声が出された。

食材提供&なんでも 相談会に取り組んで



中京地区労
寺田 博 代議員

6月に中京地区労・中京社保協など14団体で実行委員会をつくり中京食材支援&なんでも相談会を実施。開始前からたくさんの方が並び開始時間を繰り上げてスタート、お米300キロなどたくさんのお米、トイレトペーパーや生理用品などを提供した。相談には「パートで仕事の時

総がかり組織化 宣伝を実施



自交総連
曾野 武浩 代議員

10月1日にタクシー労働者総がかり組織化宣伝行動を実施。最賃での市民向けピラとタクシー労働者にはダイナミックプライシングに反対する内容を知らせた。タクシー

最賃の取り組みと公契約 条例改善の課題について



出版労連
新村 恭 代議員

毎年春闘時に、最賃引き上げの要請文を京都の出版関連60数社に、京都総評の生計費調査の数字を入れながら送っている。来年は、最賃が28円上がったので、企業内最賃をいくらか下げているかアンケートと、4月から

間が減って収入が半減、もう限界」「30代シングルマザー」「心臓病がありコロナが怖くて病院にも行けない」「(90代)などの声が寄せられ、アンケートには44人が協力してくれた。今後も取り組みを続けていきたい。

地区労事務所を西新道商店街の中に移転し、地域の他団体の会議などにも利用してもらうセンターにしていきたい。

雨が降ったり、電車が止まったりすると運賃が上がりがり、お客が少ないときには運賃を下げることを国土交通省は狙っている。しかし、深夜は元々2割増しなのでこの制度が導入されると4割増になる。弱者が切り捨てられるのでこの制度には強く反対していく。

府政労働者の現状 と京都府の課題



自治労連
木守 保之 代議員

「24時には帰りたい。」

「みんなでも変える」 「たたかいて」



JMITU
山際 丈久 代議員

21秋季年末闘争は、第一に職場を守り労使関係を前進させる、第二に労働組合の日常活動を再構築し団結を強化する、第三に経営者への要求と政府への要求を「二方面のたたかいて」として取り組むことを重視している。

いっしょに年金問題 に取り組みよう



年金者組合
森脇 芳男 代議員

京都市は「財政改革」と称して「財政が大変だから」と子どもから高齢者にいたるまで市民サービスを切り捨てようとしている。9月市会に敬老乗車証見直し条例が提出され採決されようとしている。何としても見直しを止めたい。

京都市の不当労働 行為とのたたかい



福祉保育労
大西 謙 代議員

学童保育児童館職員にかかわる福祉保育労との団体交渉を京都市が拒否している問題で昨年12月に京都府労委に不当労働行為救済を申し、次回の証人尋問では当時の担当課長が組合側証人として組合との交渉経過を証言してくれ、いよいよヤマ場となっている。何としても勝利したい。

やりがいを奪う市政 運営の転換めざして



自治労連
福本 えりか 代議員

京都市行財政改革計画は、市民の声を聞かず、職員の見解も反映されていない。「市民のために働きたい」という職員のモチベーションを下げ、やりがいを奪う市政運営が行われている。そして、コロナ対応職場では、8月の時間外勤務100時間超えが23人、最大は300時間。こんな中、年度途中退職が昨年の1.6倍、新規採用者が何人も病休、など疲弊し、孤立し、心身を病む職員が出てきている。自治体が本来の役割をなげうった結果ではないか。この責任は市長にあり、同時に国にもある。

【新役員】	議長	梶川 憲	京教組	岩井 史彦	北上地区労	山本 和夫	年金者組合
	副議長	池田 真人	全国一般	長田 学	化学一般	西村 功	西右京地区労
	〃	奥井 正美	福知山地労協	海藤 巳希子	女性部(新)	〃	郵政ユニオン
	〃	酒井 仁巳	京建労	川下 貴恵	JMITU(新)	〃	全印総連
	〃	中野 宏之	京教組	北村 弘司	宇城久地区労(新)	特別常幹	岩橋 裕治
	〃	福島 功	京都自治労連	坂田 政春	京都医労連	〃	全労連組織拡大
	〃	山本善五郎	JMITU	佐々江洋志	私教連	〃	専任オルグ
	〃	吉岡 勝	福祉保育労	竹村 義明	京都自治労連	【退任役員】	副議長
	〃	柳生 剛志	京都医労連	永戸 有子	京都自治労連	副議長	河川 隆洋
	〃	伊藤 修平	京建労(新)	早田 武彦	建交労	事務局次長	山縣 哲也
【新役員】	〃	南 博之	京都自治労連	藤井 歩	福祉保育労	〃	石田尾恭吾
	〃	安東 陽一	国労京滋	藤村 稔治	京都放送労組(新)	〃	谷口 和文
	〃	石川 晃之	合同組織	藤原 敏秀	自立労連	〃	森 智重美
	〃	〃	〃	矢野 芳彦	京都国公	〃	森 博
	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃



10月31日投開票 衆議院総選挙

投票に行ったら 政治を変えよう!

無為無策のコロナ対応などへの批判に追い詰められて菅首相が辞任し、岸田政権ができましたが、国会でしっかり議論することなく衆議院解散・総選挙となりました。
私たちのいのち・暮らしがかかった大切な選挙。「投票に行ったら政治を変えよう」とすべての労働者に呼びかける取り組みをすすめていきましょう。

「投票に行こう」と呼びかけよう

10月19日公示、31日投票で衆議院総選挙が行われます。

コロナ禍で苦しむ労働者・国民の声に向き合い、いのち・暮らしを守る政治、労働者・国民の切実な要求が実現される政治を実現できるのかどうかがかかった選挙です。

秋季年末闘争方針で、「組合員の思想・信条の自由、政党支持と政治活動の自由を基本に、野党共闘の強化を求め、改憲と強権の政治からいのち・暮らしを守る政治への

転換をめざす」ことを提起しています。

職場、地域で要求を語り、政治を変えようのために「投票に行こう」との呼びかけを強めましょう。

野党共通政策を学び、知らせよう

9月8日に「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」と、立憲民主党、日本共産党、社会民主党、れいわ新選組の4野党の党首が「衆議院総選挙における野党共通政策の提言」に合意し締結しました。

共通政策は、6項目20政策で、「従来の医療費

削減政策を転換し、医療・公衆衛生の整備を迅速に進める」「コロナ禍による倒産、失業などの打撃を受けた人や企業を救うため、万全の財政支援を行う」「最低賃金の引上げや非正規雇用・フリーランスの処遇改善により、ワーキングプアをなくす」「所得、法人、資産の税制、および社会保険料負担を見直し、消費税減税を行い、富裕層の負担を強化するなど公平な税制を実現し、また、低所得者や中間層への再配分を強化する」「再生可能エネルギーの拡充により、石炭火力から脱却し、原発のない脱炭素社会を追求する」など私たちの要求と合致するものとなっています。

野党共通政策を学び、知らせて、いのち・暮らしが守られる政治をめざしましょう。

市民連合と野党4党（立憲民主党・日本共産党・社会民主党・れいわ新選組）が合意した衆議院総選挙における野党共通政策の提言

- 憲法に基づく政治の回復**
 - 安保法制、特定秘密保護法、共謀罪法などの法律の違憲部分を廃止し、コロナ禍に乗じた憲法改悪に反対する。
 - 平和憲法の精神に基づき、総合的な安全保障の手段を追求し、アジアにおける平和の創出のためにあらゆる外交努力を行う。
 - 核兵器禁止条約の批准をめざし、まずは締約国会議へのオブザーバー参加に向け努力する。
 - 地元合意もなく、環境を破壊する沖縄辺野古での新基地建設を中止する。
- 科学的見地に基づく新型コロナウイルス対策の強化**
 - 従来の医療費削減政策を転換し、医療・公衆衛生の整備を迅速に進める。
 - 医療従事者をはじめとするエッセンシャルワーカーの待遇改善を急ぐ。
 - コロナ禍による倒産、失業などの打撃を受けた人や企業を救うため、万全の財政支援を行う。
- 格差と貧困を是正する**
 - 最低賃金の引上げや非正規雇用・フリーランスの処遇改善により、ワーキングプアをなくす。
 - 誰もが人間らしい生活を送れるよう、住宅、教育、医療、保育、介護について公的支援を拡充し、子育て世代や若者への社会的投資の充実を図る。
 - 所得、法人、資産の税制、および社会保険料負担を見直し、消費税減税を行い、富裕層の負担を強化するなど公平な税制を実現し、また低所得層や中間層への再配分を強化する。
- 地球環境を守るエネルギー転換と地域分散型経済システムへ移行**
 - 再生可能エネルギーの拡充により、石炭火力から脱却し、原発のない脱炭素社会を追求する。
 - エネルギー転換を軸としたイノベーションと地域における新たな産業を育成する。
 - 自然災害から命と暮らしを守る政治の実現。
 - 農林水産業への支援を強め、食料安全保障を確保する。
- ジェンダー視点に基づいた自由で公平な社会の実現**
 - ジェンダー、人種、年齢、障がいなどによる差別を許さないために選択制夫婦別姓制度やLGBT平等法などを成立させるとともに、女性に対する性暴力根絶に向けた法整備を進める。
 - ジェンダー平等をめざす視点から家族制度、雇用制度などに関する法律を見直すとともに、保育、教育、介護などの対人サービスへの公的支援を拡充する。
 - 政治をはじめとした意思決定の場における女性の過少代表を解消するため、議員間男女同数化（パリテ）を推進する。
- 権力の私物化を許さず、公平で透明な行政を実現する**
 - 森友・加計問題、桜を見る会疑惑など、安倍、菅政権の下で起きた権力私物化の疑惑について、真相究明を行う。
 - 日本学術会議の会員を同会議の推薦通りに任命する。
 - 内閣人事局のあり方を見直し、公正な公務員人事を確立する。

衆議院選挙 制度解説

今度の衆議院選挙では2回投票します

衆議院選挙では、比例代表と小選挙区の2つの投票があります。

1 小選挙区選挙は候補者名で投票します。

2 比例代表選挙は政党名で投票します。

投票所では、最初に小選挙区の投票をおこない、候補者名を書きます。

つぎに比例代表選挙は政党名で投票します。候補者名を書くとは無効になります。略した政党名でも投票できます。ひらがなやカタカナで書いたものも有効です。

わたしのオススメ本

地下鉄(メトロ)に乗って

京都国公 議長

新庄 義弘

色々な本を読むので迷いましたが、これを選びました。この本を読んだきっかけは、山が好きな関係で、新田次郎さんの本をよく読んでいたのですが、本屋で名前が似ていたのが始まりです。

現在をタイムスリップで行き来し、大実業家

舞伎の「見得を切る」場面が出てくるのが特

で不仲な父の、知られざる過去を知るというストーリーです。

浅田さんの作風は、深刻な場面にも何処かユーモアがあって、歌舞伎の「見得を切る」場面が出てくるのが特徴で、笑いあり涙ありの3幕劇を見ているような気分になります。

「蒼穹の昴」や「シエラガード」なんかも気に入っています。



書名：地下鉄(メトロ)に乗って
出版社：講談社
著者名：浅田 次郎
定価：607円(税込)

大会宣言

京都総評第91回定期大会は、コロナ禍において、命と暮らしを第一にする社会と政治が求められる下で、開催されました。

菅前政権は、東京五輪の開催強行に象徴されるように、コロナ対応での無為無策と失政を繰り返す、深刻な感染爆発と医療崩壊を招きました。また、強権政治と政治の私物化や「政治とカネ」の問題を繰り返し問われてきましたが、政治の責任を果たさない菅政権に対する怒りの声の辞任に追い込まれました。岸田首相に交代しましたが、社会保障を削減し、格差と貧困を拡大する新自由主義をベースとする安倍・菅政治の継承でしかありません。

私たちは、食プロ・何でも相談会等を通じて、コロナ禍で、真っ先に犠牲になった非正規や女性の実態から政治の根幹を変える必要性を痛感しました。9月8日、市民連合と野党4党が、総選挙に向けた「共通政策」に合意しました。これは、私たちの要求とともに、今の政治の誤りを根本から変えるものです。みんなで投票に行き、政権交代をめざしましょう。同時に、国に追従し、北陸新幹線などの大型開発を優先し、住民の暮らしを破壊する京都府政・京都市政では、命や暮らしは守れません。私たちの怒りを集中するとともに、来春の京都府知事選で、府政を転換しましょう。

昨秋から取り組んだ経済団体キャラバンを通じて、最賃改善と一体に消費税減税と社会保険料負担軽減などで中小企業を支援する「京都総評経済提案」は、幅広い方々との共感と共同を生み出しました。そして、6月府議会の意見書や地方最賃

審議会の答申にも「提案」の趣旨が生かされ、最賃改善の環境整備は、政治の責任であることが合意になりました。この到達に確信をもって、「最賃1,500円」をめざすたたかいを一層強化しましょう。「8時間働けば人間らしく暮らせる賃金と均等待遇・働き方の実現」をスローガンに、21秋季年末闘争と22国民春闘で、大幅賃上げとまともな雇用、労働時間の短縮、均等待遇の実現などを勝ち取りましょう。すべての争議の勝利・解決へ力を合わせましょう。

「憲法を変えるのではなく政治を変えよう」との声と運動は、改憲策動を食い止めています。「改憲発議に反対する全国緊急署名」を広げましょう。憲法違反の「戦争する国づくり」を許さず、沖縄・辺野古への新基地建設阻止、経ヶ岬の米軍基地撤去へたたかいをすすめていきましょう。

今後の感染拡大を見据え、医療・公衆衛生の抜本強化や大規模検査の拡充、安心して休める補償制度など、何よりもいのちが大切にされ、安心して暮らせる社会を実現するために、新「いのち署名」と京都府知事宛「コロナ署名」を両手に大いに集めましょう。

「コロナだから仕方が無い」から「みんなで変える」たたかいへ、労働組合の出番です。困窮と困難に直面するすべての労働者に労働組合を知らせ、組織の強化と拡大に、総力をあげましょう。

以上、宣言します。